

資格の概要①

FP資格には、国家資格の『3級・2級・1級』と民間資格の『AFP／CFP®』があります。

FPライセンスについては国家資格のFP技能士(3・2・1級)と

民間資格のAFP・CFP®があります。

両資格は相互に関連しているのが特長です。

国家試験は「日本FP協会」と「金融財政事情研究会」の2団体が実施しており、

どちらの団体で受験しても学科・実技の両方に合格すれば

「ファイナンシャル・プランニング技能士」として認定されます。

3級試験は基本を学ぶのには有益ですが、

合格率が非常に高いため社会的な評価は高くありません。

最終目標は、より実践的で役に立つ2級以上に設定し、

着実にステップアップして行きましょう。

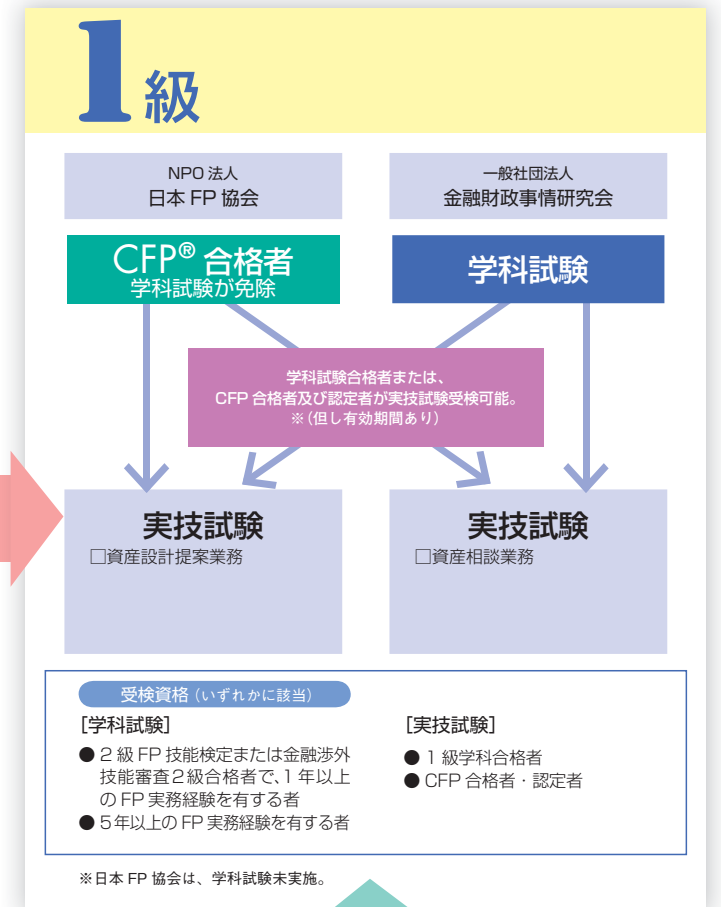
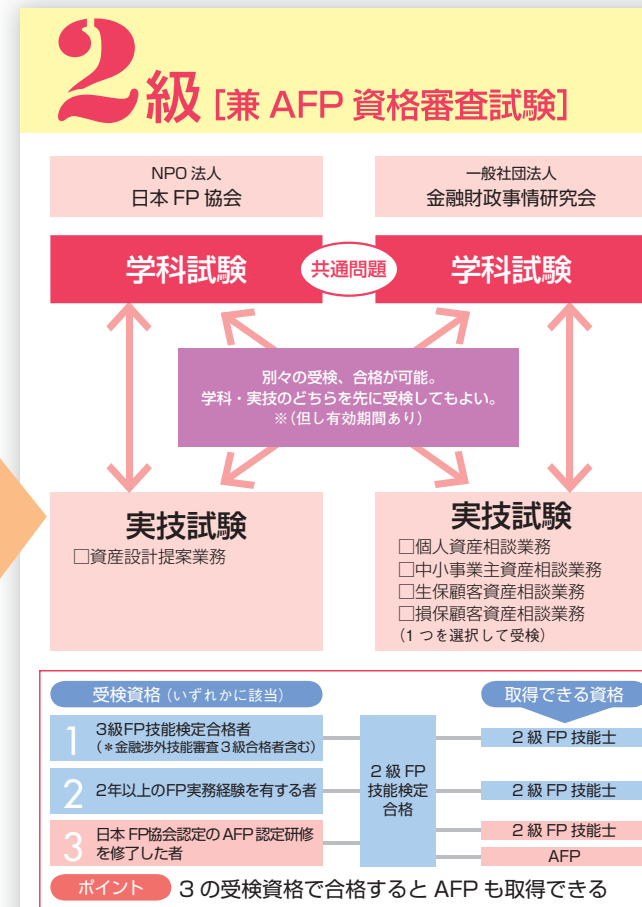
また、日本FP協会が認定する資格については、

スタンダード資格のAFPと上級ライセンスのCFP®があり、どちらも

社会的な評価は高く、特にCFP®は国際FP資格として認知されています。



※一部科目合格の有効期間について
学科・実技試験を別々に受験する場合や、同時に受験して片方が不合格になった場合など、残りの試験は片方の合格から翌々年度の3月末日までに合格しなければいけません。(CFP®認定者は1級学科試験の有効期間は無期限で有効)



AFP認定研修(2級本科生)で作成する提案書とは、顧客の希望を実現するためのファイナンシャルプランを書面にしたものです。実際のFP業務でも作成することがある書類で、ここではその疑似体験をしてもらうために、修了テストとして課されます。

FPで学ぶ要素を全て駆使しますので、その後の本試験対策にも非常に有効です。実務家FPになったつもりで作成してみてください。

TACでは提案書作成の講義の他、Word・Excelで作成する「FP提案書講座」(オプション)もご用意しています。この機会にぜひExcelもマスターしてください。

※日程・受講料などの詳細は入学後に別途お知らせします。

AFP Affiliated Financial Planner

AFP 取得までのながれ

- ①日本FP協会認定 AFP 認定研修を受講**
TACでは、2級本科生が認定研修として指定を受けています。
- ②提案書(課題レポート)の作成**
受講期間中に、課題レポートの作成が修了試験として課されます。合格基準は60点以上(100点満点)ですが、合格点に満たない場合でも、修正・再提出ができるので、あまり心配はいりません。
- ③研修修了**
提案書を提出し、合格すると『研修修了証明書』が発行されます。この時点で、2級の受験資格を得たことになります。
- ④2級FP技能検定の受験**
試験は2級FP技能検定を受験します。
- ⑤試験合格後、日本FP協会に登録手続きをすると、AFPとして認定されます。**

CFP® Certified Financial Planner

CFP® 取得までのながれ

- ①受験資格**
AFP登録者または、FP協会が認めた大学院で所定の単位を取得した者が受験できます。
- ②CFP®資格審査試験を受験**
試験は6課目すべて合格しないといけませんが、課目ごとの受験が可能です。(一部課目合格の有効期間はありませぬ。)
- ③CFP®エントリー研修**
6課目合格後、FP協会主催のエントリー研修を受講します。
- ④日本FP協会に登録をしてCFP®として認定される。**
3年間の実務経験要件を満たし、FP協会に登録するとCFP®として認定されます。